

特定非営利活動法人国際社会人剣道クラブ関東地区クラブ会報	
<h1 style="font-size: 2em;">交 剣 知 愛</h1> <p>第576(2021・令和3年6月号) 令和3年6月22日発行</p>	INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB
	<h2 style="font-size: 1.5em;">会長 川瀬 能男</h2>
	<h3 style="font-size: 1.2em;">事務局 幹事長 小川 徹</h3>
	IGKC ホームページアドレス http://www.-igkc.or.jp

【会長挨拶】

東京都は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置へ、埼玉県、千葉県及び神奈川県は、まん延防止等重点措置が7月11日まで延長されました。また、東京五輪も間近に迫っており、これに伴うスポーツ施設の利用制限がある地区もあるように聞いております。

このように各種制約のある中、会員の皆様には稽古の機会を得るのに腐心されていることと推察いたします。

来月の月例会は新宿スポーツセンターにおいて計画しております。奮って参加されるのをお待ち申し上げます。

【事務局からのお知らせ】

1 今後の月例会の予定

月 日	時 間	場 所
7月11日(日)	13:00~16:00	新宿区スポーツセンター武道場
8月29日(日)	13:00~16:00	新宿区スポーツセンター武道場
9月	未定	

ただし、受入れ施設の態勢により中止、時間の変更又は参加人員に制限がある場合がありますので、予めご了承ください。

なお、細部については別途お知らせします。

2 称号審査結果

事務局まで連絡頂いた合格会員は次のとおりです。 **おめでとうございます!**

・教士: 藤田秀樹、藤原敏雄 (5月3日 京都)

3 2021年度会費 納入者(令和3年5月21日~6月21日)

2021年度年会費を納入された方は次のとおりです。(敬称略)

一色伸悟、小野友栄、小原功、佐々木隆史、清水原、谷生誠人、千々布敏弥
幡野幸一、平野猛、前川善幸、宮本俊明、安庭隆光

4 2020年度 会費納入のお願い

2020年度年会費未納の方は納入をお願いします。
なお、振込手数料は会員各自にてご負担願います。
振込銀行: ゆうちょ銀行

【交剣知愛】 (教士八段 安江正紀 先生 寄稿)

「パキスタンにおける剣道事情 ～ アザーンの街の侍達」

第六話「日本国大使館剣道クラブの侍達」

1 日本文化継承の一環としての剣道

皆様、これまで約半年間にわたりまして、私の拙い手記にお付き合いいただき誠に有難うございました。私自身、数々の思い出を文章にすることで改めて「交剣知愛」の素晴らしさを再認識することができました。心から御礼を申し上げます。

さて、最終回となる今回は、パキスタンにおける剣道修行の嚆矢となった「日本国大使館剣道クラブ(後の巴剣友会)の侍達」をご紹介します。

ほとんどの方が剣道未経験者でありましたが、毎週土曜日の稽古に熱心に通われ、延べ12人の外交官侍が生まれました。趣味や娯楽の少ない当地において新規の運動クラブが目をつけたこともあるかと思いますが、人生の多くを外国で勤務される外務省職員にとって、茶道や華道と同じ、日本文化の一つとしての「剣道」に大きな興味を持たれたことも稽古を継続する大きな動機となったのだと思います。

今も多くの方々が剣道修行を続けていると聞いております。

2 外交官侍達のご紹介

最初、私は自分の独り稽古の延長として少人数で稽古を行うことをイメージして、毎週土曜日午後の1時間、日本人学校の体育館をお借りして剣道クラブを開設致しました。

これに最初に応じてくださったのは経済班のNさんでした。Nさんは長く少林寺流空手を修行された高段者で、杖やヌンチャク、サイ等の武器を巧みに操る武道家でした。

彼は同じ日本人学校体育館で在留邦人家族・子弟を集め、空手教室を主宰されており、私一人で素振り、打ち込み、剣道形等の稽古をしている姿を見て、興味を持って稽古会に入ってくれました。さすがに武道的センスは抜群でメキメキと上達していきました。

彼は、「空手は、侍の日本刀等による攻撃を想定した攻防の技術であり、その日本刀の操作を学んだ事は空手修行にとっても大きな収穫であった」と述べました。このことは逆もまた真なりで、剣道家も他の武術の動作を学ぶ必要性を述べたものであると思います。

そして、続いて広報文化班長のAさんが参加。彼はご自分でマグロを捌ける程の寿司職人でもあり、キーボードを中心に数多くの楽器を演奏できるミュージシャンでもありました。彼は、「特に居合に興味がある。料理で使う包丁も含め刃物には大きな興味があり、居合は生涯の修行として続けたい」と話しておりました。

その後、多くの大使館員が次々と参加してくれるようになり稽古会は盛り上がり、前半1時間は木刀による基本稽古、後半1時間は防具をつけての稽古を行うまでになりました。

最終的には、5人が防具を着けての稽古ができる様になりました。



防具を着けた地稽古の様子

3 「木刀による基本技稽古法」の有益性

一連の稽古を通じて、私が特に感銘が深く感じたのは、初心者指導における「木刀による基本技稽古法」の有益性でした。当地においては、剣道具の調達が難しいこともあり、最初は日本から10本の白樫木刀を送ってもらい、最初から木刀で素振り、切り返し等の基本動作を練習し、「木刀による基本技稽古法」、「日本剣道形」に移行して行きました。

クラブ員達は、木刀の刃部、峰部、鎗、鐙等の部位と作用を自然と認識し、「刃筋正しく打突する」という剣道習得において極めて重要な課題をすんなりと体得しました。

また、木刀による稽古は竹刀を用いた場合より緊迫感があり、自然と集中力が高まり、結果的に相手との安全な間合いを体得することにつながったと思います。

このことは、防具をつけての稽古に移行する際に、更に大きな効果を発揮し、刷り技の鎗使いや返し技の刃筋についても極めて容易に習得することができました。



なんと申しまして、剣道は日本刀による攻防が原点であり、日本刀に形状を模して作られた木刀を使用して刀の操作を学ぶことは理に適っていることは当然であり、特に剣道修行の初期においてはその功が大きいことがわかりました。今は私も竹刀操作に慣れ切った手の内を木刀や居合刀を振ることで矯正しております。

稽古の様子

4 おわりに ～剣道修行は世界共通パスポート～

私は、パキスタン以外にも、ベトナム、カナダ、ドイツでそれぞれ2年間滞在した経験があり、それぞれの土地で剣道を楽しみ剣道仲間に支えられて来ました。

着任間際の生活の立ち上げ、子供が熱を出したとき等に、剣道関係者に相談し大きな支援を受けてきました。一緒に汗をかいた剣道仲間であるということだけで、皆さんが我が事のように親身になって助けてくれました。

私は、予てから「剣道修行は世界共通パスポート」であることを実感し、多くの方に伝えて来ました。在外経験豊富な国際社会人剣道クラブの先生方にも剣道を通じた人間関係の素晴らしさにご賛同いただけるものと思っております。

今後さらに剣道が世界各国に浸透し活動が深まっていくことを心から祈念しております。

改めて「交剣知愛」に心から感謝申し上げます。

拝



巴剣友会メンバーによる木刀演武

今年1月号から連載の「パキスタン剣道事情」は、今月号をもちまして最終回となりました。安江先生にはお忙しいところ執筆頂きありがとうございました。(事務局)